

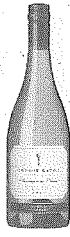
アサヒイタリアワイン11品目

アサヒビールは来年1月8日から、イタリアのコンテルノ・ファンテーノ社とカルタン社のワイン計二品目を発売する。すべて750ml瓶、オープン価格。



「コンテルノ・ファンテーノ社」▽バローロ・ソリ・ジネストラ▽バローロ・モスコニー▽ランゲ・デッレ・ロッソ・モンブラ▽ランゲ・ネッピオーロ・ジネストラ▽バルベローラ・ダルバ・ヴィニョータ▽ドルチェット・ダルバ・ブリッコ

また同日から、ニュージーランドのクラギー・レンジ社のワイン五種を発売する。750ml瓶、オープン価格。



「1998年設立のワイナリー。畑名がアイチム名になっている」(同社)・ヘテ・ムナ・ロード・ヴィンヤード・ソノウ・イニオン・フラン・ピノ・ノワール。(ギムブレット・グレイヴェルズ・計四品目)

ニュージーランド産は5種

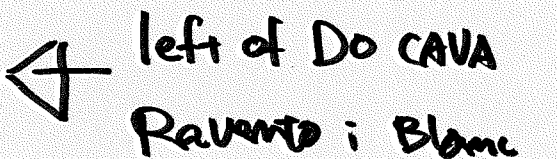
また同日から、ニュージーランドのクラギー・レンジ社のワイン五種を発売する。750ml瓶、オープン価格。

五種。カリヴィンヤード・ソノウ・イニオン・ピノ・ノワール。計四品目。

▽ステラ・アルピナ▽カルタン・シャルドネ▽ピノ・グリージョ▽ゲヴェルツトトラミナー。ウ畑を所有。一次発酵にステンレス樽を用いる製法を取り入れている(同社)



ウ畑を所有。一次発酵にステンレス樽を用いる製法を取り入れている(同社)



※シャンパーニュへクリュクンクラー付MHDモエヘネシーディアジオは来年2月20日から、シャンパーニュへクリュクンの数量限定品「バンブーポトルクラセット」を東京・名古屋・大阪の主要百貨店で発売する。(クリュクン社)

◆チリ・コンチャ上級ワインセミネー開催/日本リカー・日本リカーはチリワイン「コンチャ・イトロ」社の上級ワインの報道関係者対象の試飲セミナーを東京都内のホテルで先頃開催した。メルシャンからコンチャ社の上級ワインを引き継

・ブランドキュヴェン750ml瓶一本と、ポトルクラシーをセットにしたもので、小売一〇万円。「竹製のアウトターは竹又(京都)、鋳物製のインナは能作(富山)が手掛けた」(同社)

で初の開催。コンチャ・イトロ・アジア(シンガポール)のマネージングディレクター、アンドレス・パレステロス氏が(同社)・メルチャー(ヘカールミン・デ・ペウモ)など試飲アイテム五種(小売九千円〜二万八千円)について説明した。

米麴を使用した黒糖焼酎風味。獲て二年半熟成「(ラオディ社)▽天然ラムリキュールシリーズ。すもも350ml瓶1リキユール、アル分23%。一、七〇〇円。季節限定。基幹商品(ラオディ・アグリコル・ラム)にラオス産無農薬栽培のすももを漬けた」

▼バカルディ・ジャパンは12月14日、東京の丸の内界隈でウォッカ(グレイトス)の販促イベント「グレイトス・パークエクトモメント」を行う。モデルが乗った「グレイトスカー」が周遊。衣料・雑貨店エストネーション有楽町店とヴァルカナイズ丸の内店に誘引。同製品を使ったカクテルの試飲会やパフォーマンスなどを行う。

スペインの瓶内二次発酵スパークリングワイン「カバ」の生産者、ラベントス・イ・ブラン社がこのほど「DO・CAVA(カバ原産地呼称)」から離脱する、と発表した。来年度以降発売する2010年ヴィンテージから「CAVA」と表記しない。同社は自社畑(九〇ha)のブドウのみを使用している。畑名をラベルに表記するつもり。

日本の輸入元は日本酒類販賣、年明け以降、正式に説明地呼称を考案した直系家族。カバを開発した「本家」のD

トス氏が「CAVA」の原産地呼称を考案した直系家族。カバを開発した「本家」のD

△世界のワイン市場でカバは低価格のスパークリングワインとのイメージが強く、ファインワインとしての市場構築が難しい▽「CAVA」がスペインワイン法上、特定の地域と結びついていないという矛盾した原産地呼称となっている——ことを挙げている。

「カバ」表記やめまます

安価イメージ嫌いDO離脱

初に瓶内二次発酵スパークリングワインを生産したコードーニョ社の創業家。三代目ホセ・マリア・ラベン

同社は離脱の理由として、

△世界的ワイン市場でカバは低価格のスパークリングワインとのイメージが強く、ファインワインとしての市場構築が難しい▽「CAVA」がスペインワイン法上、特定の地域と結びついていないという矛盾した原産地呼称となっている——ことを挙げている。

今後、同じ理由から他の高級カバ生産者から、「CAVA」離脱の動きが出そうだ。

△世界的ワイン市場でカバは低価格のスパークリングワインとのイメージが強く、ファインワインとしての市場構築が難しい▽「CAVA」がスペインワイン法上、特定の地域と結びついていないという矛盾した原産地呼称となっている——ことを挙げている。

◆スコッチ文化研究所がウイスキーフェスティバル開催 スコッチ文化研究所(土屋守代表)は、2日、ウイスキー専門誌ウイスキーワールドと共催で、第7回「ウイスキーフェスティバル2012 in 東京」を東京都内のホテルで開催した。約二、三〇〇人が来場。メーカー



・輸入業者など三四社が出展し、新商品の紹介や希少商品の有料試飲、ウイスキーベースのカクテル提供や食品・関連書籍・グッズの即売も行った。今回初めて「公式ブラインドコンテスト」の公開決勝を実施、全国四〇人の出場者から東京在住の大島晋史さんが優勝した。